

## 国連総会 賛成 141 票の秘密（ミュンヘンの脅迫）

Geopolitical Economy Report  
Feb 21 2023

**ミュンヘン安全保障会議： 欧米が南に迫る…  
あなた方は中立ではいられない。我々の側か敵の側か、どちらかだ**

West tells Global South 'you can't be neutral' in Ukraine war:  
You are either with us, or against us  
<https://geopoliticeconomy.com/2023/02/20/west-global-south-neutral-ukraine/>

By Ben Norton

リード

米国、ドイツ、ウクライナの外相はミュンヘン安全保障会議で、「中立は選択肢にない」と語り、独自の判断を示す「グローバル・サウス」諸国を批判した。



**写真説明： ミュンヘン安全保障会議。中立国を非難するブリンケン、パーボック、クレバ**

以下本文

米国、ドイツ、ウクライナの外相は、この戦争において「中立ではいられない」と圧力を加えた。それはブッシュ大統領の宣言「You are either with us, or against us」を思い起こさせる。

その発言は、地球上の多くの国、つまりウクライナ戦争に対して中立を維持している南半球の国々を暗に批判しているのである。

2月18日の公開ディスカッションで、ドイツのバーボック外相は「中立という選択肢はない。それでは侵略者の側に立つことになる」と言い放った。

そして、「これは、来週（国連総会で）世界に対して行う嘆願でもある」と強調した。「平和のため、ウクライナのため、人道的国際法のため味方をしてください。それは、ウクライナが戦うために弾薬を送り届けることも含めます」

ドイツ外相の発言は、米国のプリンケン国務長官にも響いた。「バーボックが言ったように、中立はありえない。とても中立ではいけない」と彼は強調した。

ウクライナのクレバ外相は、「西側は原則と規範のために立ち上がった」と賞賛する一方で、「南半球は野蛮で無法地帯だ」と批判した。「しかし、世界の他の地域はどちらつかずで、事実上ロシアを支持している」とクレバは吐き捨てた。

バーボック外相は、1月の欧州評議会でも「我々はロシアと戦争をしている」と宣言した。それは西側がロシアに戦争を仕掛けていることを明言したことになる。

これら欧米高官の発言は、ウクライナ戦争に加わることを拒否した「南半球」に、彼らが苛立ち怒っていることを明確に示している。